

特集

京成本線の立体化



みななで考えたい
「健康都市いちかわ」に
ふさわしいまちづくり

市では、健康という視点から、安全で安心できる快適なまちづくりに取り組んでいます。なかでも、歩行者、自転車、自動車交通の安全確保と交通機能の向上は、健全な都市機能の確保や市民生活にとって重要な課題です。この課題の解決には、市の中央部を平面で通る京成本線の立体化の検討を、避けて通るわけにはいきません。

そこで今回は、京成本線沿線のまちづくりについて皆さんと一緒に考えるために、これまでに取り組んできた地域の課題とまちづくり構想案についてお知らせします。

京成本線立体化 これまでの歩みとこれから 市民と協働で……

京成本線の立体化については平成10年に「市川市京成本線連続立体化と街づくり懇話会」が設置され、市民の皆さんや学識経験者などが、その整備手法をさまざまな視点から検討し、平成13年度に「市川市における京成本線の連続立体化と沿線街づくりに関する提言」が市長に提出されました。

市川市では、この提言を受けて、内容の検証や具体化に向けた諸問題について検討を重ね、この度、京成本線沿線の課題を整理し、「健康都市いちかわ」にふさわしい、「京成本線沿線のまちづくり構想案」をまとめました。今後は、このまちづくり構想案について、市民の皆さんからご意見を伺いながら、更に検討を進めていきます。

京成本線沿線の課題

京成本線は、市民の重要な交通機関としての役割を担っています。しかし、その一方で、市の中央部を平面で通ることから、多くの踏切が渋滞や事故発生の誘因となっています。また、渋滞により、公共交通機関のバスの運行の遅れや、排気ガスの増加、更には鉄道そのものの騒音や振動も生じているため、市では立体化(※)についての検討を進めてきました。

※立体化とは、鉄道または道路を高架化または地下化することで、両者が平面で交わらない(踏切がない)構造にすることです。

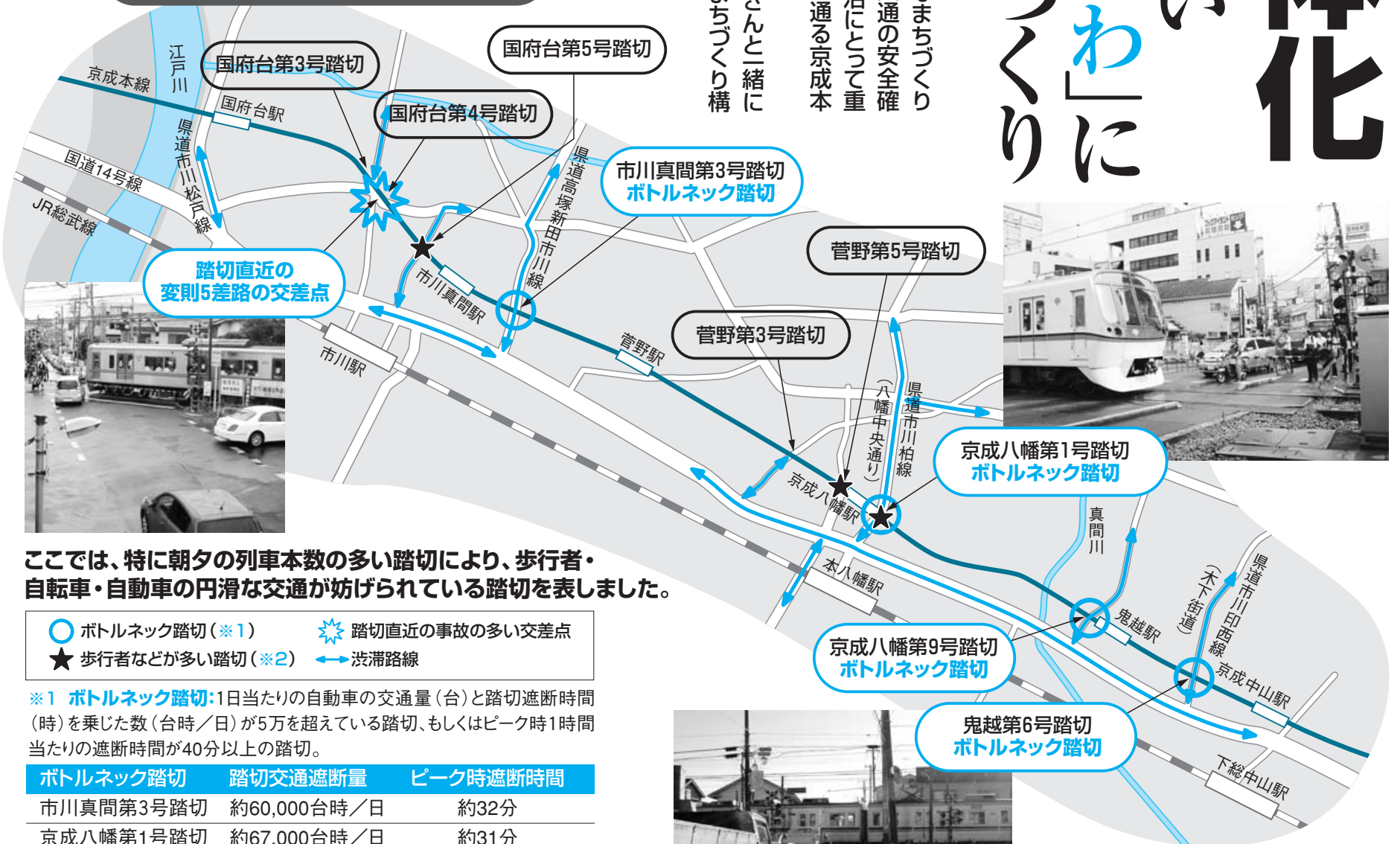
交通に関する課題

1. 交通渋滞
2. 踏切事故
3. 歩行者の安全性

環境に関する課題

1. 鉄道騒音・振動
2. 交通渋滞時の排気ガス

京成本線沿線の課題はどこ?



ここでは、特に朝夕の列車本数の多い踏切により、歩行者・自転車・自動車の円滑な交通が妨げられている踏切を表しました。

- ボトルネック踏切(※1)
- ★ 歩行者などが多い踏切(※2)
- ☆ 踏切直近の事故の多い交差点
- 渋滞路線

※1 ボトルネック踏切:1日当たりの自動車の交通量(台)と踏切遮断時間(時)を乗じた数(台時/日)が5万を超えている踏切、もしくはピーク時1時間当たりの遮断時間が40分以上の踏切。

ボトルネック踏切	踏切交通遮断量	ピーク時遮断時間
市川真間第3号踏切	約60,000台時/日	約32分
京成八幡第1号踏切	約67,000台時/日	約31分
京成八幡第9号踏切	約59,000台時/日	約28分
鬼越第6号踏切	約62,000台時/日	約29分

※2 歩行者と自転車の交通量の合計が1日に1万を超える踏切。



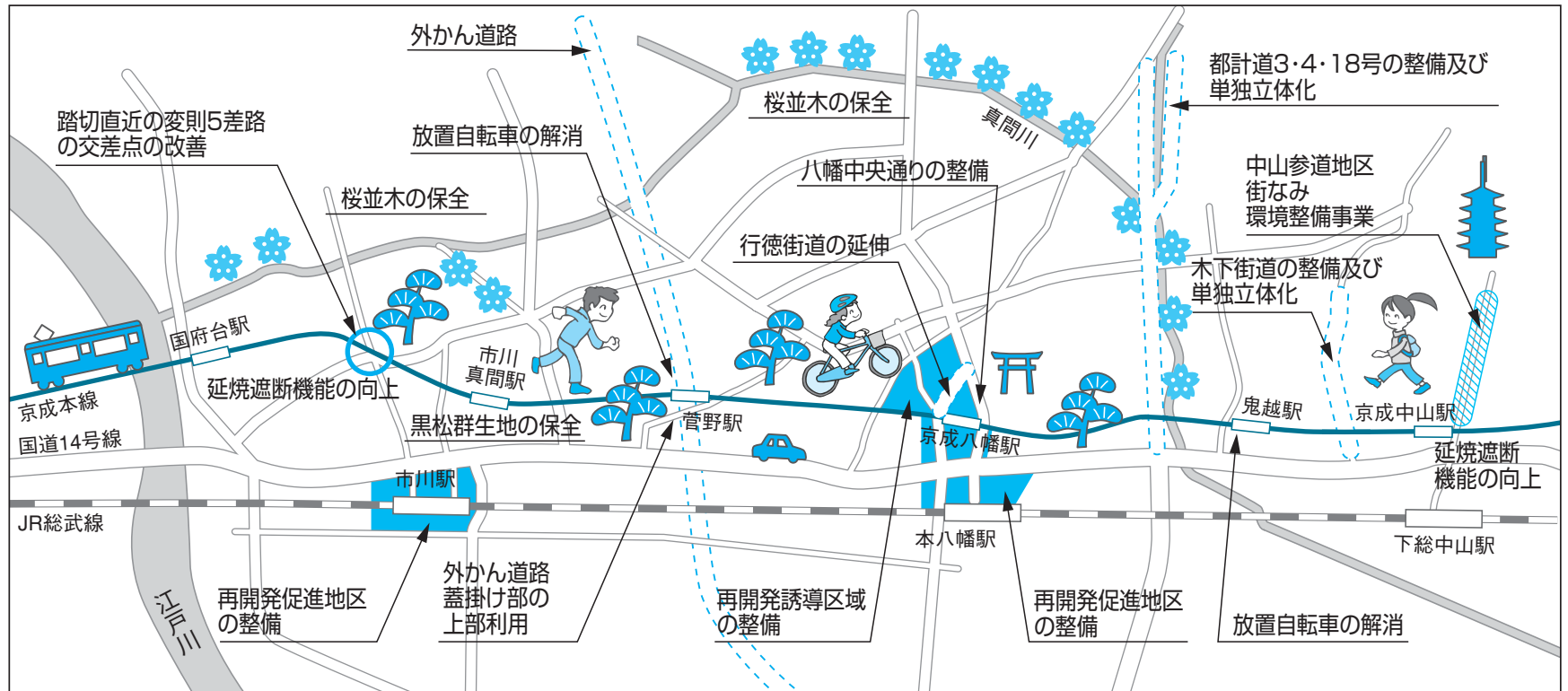
京成本線沿線のまちづくり構想案

ゆとりが
キーワード!

京成本線沿線の課題を検討するにあたって、この地域を将来どのような「まち」にしていきたいかという方向を定める必要があります。このため、京成本線沿線のまちづくり構想についても併せて検討し、従来、にぎわいというまちづくり構想を持つこの地域に、健康都市いちかわにふさわしい「ゆとりをつくり出すこと」という新しい視点を加え、構想案を作成しました。

人が健康であるためには、精神的にも物理的にも「ゆとり」が重要です。都市機能も同様に、交通や防災などさまざまな課題を改善していくためには、「ゆとり」が重要であると位置付けました。このように、市の中央部である京成本線沿線の地域は、京成本線の立体化によってつくり出される空間を、「ゆとり」という考え方に基づいて有効に生かしながら、まちづくりを進めていくこととしています。

京成本線沿線のまちづくり構想案



「京成本線沿線のまちづくり構想案」では「ゆとり」を生かしたまちづくりを進めるために、6つの目標を設定しています。

まちづくりの6つの目標

1 人の活動性を高める空間をつくる

- 立体化によって生み出される空間を、集い、憩い、遊びなど、市民がさまざまな活動ができる場所として整備する。
- 外かん道路の蓋掛け部の上部利用。

2 交通渋滞を緩和し交通機能の向上及び環境対策を図る

- 踏切遮断による渋滞の解消やバスの円滑な運行など、交通機能の確保を図る。
- 車両渋滞による排気ガス発生などの抑制を図る。

3 踏切事故の解消及び歩行者の安全性の確保を図る

- 踏切の除去により、踏切事故を解消する。
- 安全な歩道などを整備する。

4 地震や火災などの際の防災機能の向上を図る

- 避難場所や避難路の機能を高める。
- 延焼遮断機能を高める。

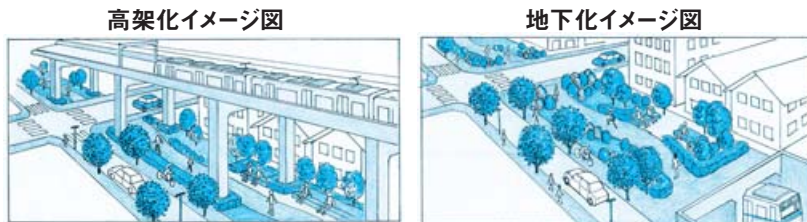
5 駅周辺や沿線のにぎわい創出により商業の活性化を図る

- 安全で快適な歩行空間の確保。再開発による駅周辺や沿線の街並み整備を進め、新たなにぎわいを創出し、商業の活性化を図る。

6 水と緑に囲まれたゆとりの空間を創出し市川ブランドの向上を図る

- 市の木「黒松」を生かして歴史ある地域景観をつくる。
- 東西を結ぶ歩道や植樹帯などを確保し、市内各地に点在する水と緑の拠点、文化の拠点をネットワーク化する、歩いて楽しい「健康都市いちかわ」にふさわしい空間を創出する。

ゆとりの空間イメージ案



京成本線立体化について
皆様のご意見をお寄せください。

地域街づくり推進課
京成沿線整備担当室

☎704-0258 ファクス336-8028
※市のホームページから送ることもできます

京成本線沿線のまちづくりや京成本線の立体化について、市民の皆さんと共に考えていくため、広報いちかわ10月20日号では、本市が検討している京成本線立体化の複数の案について紹介します。

広告

●デジタル放送も
●インターネットも
安心サポートの
いちかわケーブルに
おまかせ!!

ケーブルでTV



地上デジタル放送もBSもCSもおまかせ!

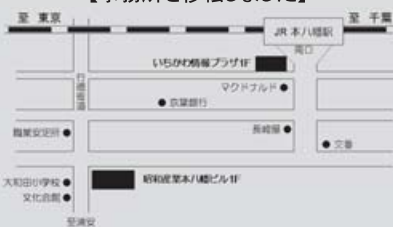
ケーブルでnet



加入後のインターネットのトラブルにも安心お手伝いサービス!

セット料金でさらにお得なサービス!!

【事務所を移転しました】



いちかわケーブルネットワーク株式会社
☎0120-11-7971
<http://www.icnet.ne.jp/>